



【工場概要】

- ・設立：1999年3月
- ・所在地：滋賀県犬上郡多賀町大字四手字諏訪510-7
- ・施設内容：ソフトクリーム及びシェーク用ミックス、冷凍ホップクリームの製造



【ここが注目ポイント！】

事業を通して「笑顔あふれる幸せづくり」に貢献

1. 工場廃棄物の減量と有機資源の利活用

- ・製造工程でロスとなったミックスや原料を、養豚用飼料や農業用資材として活用。
- ・製造工程の排水処理から出る残渣は、地域の農地で堆肥として利用し、育った生産物を用いて、地域循環型ソフトクリームを作り、限定期的に販売することで、工場の環境課題に対する取組をPR。



↑ 排水汚泥由来の堆肥

↑ 廃棄原料（液糖）を農業用資材として活用

過去に近畿農政局滋賀県拠点が日世株式会社びわ湖工場を訪問し、廃棄物削減の取組と資材循環の取組について、お話を伺いました。



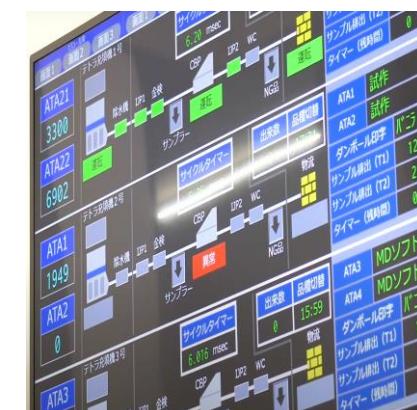
詳しくはこちる



← 排水処理で発生した残渣を堆肥として活用し、育った規格外の小松菜を使用した「小松菜ソフトクリーム」

2. DXを推進し、業務を改善

- ・生産設備をIoT化することによってデータを収集・蓄積。
- ・スマートファクトリー化に向けて、AI分析による予防保全や電子帳票、デジタルサイネージなど、デジタル技術を活用した業務の効率化や内部のコミュニケーションを推進。

3. ソフトクリームは子どもたちの笑顔のみなもと

- ・食品ロスや環境問題を解決するための取組を伝える活動として、「ソフトクリーム巻き巻き体験」を、地域の子ども食堂や子どもたちの居場所で実施。
- ・社会福祉協議会との連携を強化し、未利用食品を子ども食堂やフードバンク、フードパントリーへ提供。

4. GXを推進し環境負荷を低減

- ・コーチェネレーション（自家発電機）で工場の使用電力の30%を補う。
- ・ピークカットや、排熱を空調設備やボイラーで利用することで、工場全体のエネルギー消費を低減。
- ・災害などの緊急時の事業継続に備えており、災害によって停電が発生した場合に、地域支援を行うため、BCP協定を締結。
- ・工場の電源の10%を、太陽光発電で供給し、環境に配慮した再生可能エネルギーの利用を積極的に実施。



#工場廃棄物の減量と有機資源の利活用
#スマートファクトリー化に向けたDXの推進
#ソフトクリームは子どもたちの笑顔のみなもと
#GX推進による環境負荷の低減



近畿農政局職員が 「日世株式会社 びわ湖工場」を訪問しました！

- 日世株式会社は、ソフトクリームの原料となるミックスや、コーンカップの製造だけでなく、ミックスを最適な状態で絞り出すための「フリーザー」という機械も自社で製造するなど、ソフトクリームに関する全てを製造できるところが珍しいポイント！
- 工場内には高度清浄エリアがあり、滅菌されたミックスは無菌状態のまま自動充填されます。異物がないことや重量などもチェックし、製品の包装状態を確認したりと、安心・安全な商品へのこだわりがみれました！
- 工場内は、機械化が進んでおり、特に出入庫を行う倉庫は、完全自動になっています！また、倉庫内はとても広く、立体になっていて見上げるほど高いです！
- 中国を拠点として、アジア圏への展開へも取り組んでおり、現地で好まれる味にするため、現地での開発にも力をいれています。中国では乳脂肪分が高いソフトクリームだけでなく、季節や地域の特産品を生かしたソフトクリームが好まれるそうです！
- 開発段階での試作品ミックスを捨てることなく、子ども食堂に持ち込み、子どもたちに品評してもらったり巻き体験を行うことで、食品ロス削減への意識を高める活動をしたり、施設内で出た残渣の飼料化に取り組んでいたりと、社員が積極的に環境負荷削減にチャレンジしていました！
- 皆さんも「ニックン＆セイチャン（NISSEIのキャラクター）」をSAや観光地などで見かけたことがあるはず！日世株式会社のソフトクリームは、旬の味など多彩なフレーバーがあるので、全国各地で楽しむことができます！



日世株式会社は、徹底した衛生管理でソフトクリームを製造し、地域との共生や食品ロスの削減など様々なことにも取り組まれている会社です！SAや観光地で食べるソフトクリームは日世株式会社のものかもしれません！是非「ニックン＆セイチャン」を探してみてください♪

